

平成22事業年度

決算報告書

自：平成22年 4月 1日

至：平成23年 3月31日

国立大学法人東北大学

平成22年度 決算報告書

国立大学法人東北大学

(単位:百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算－予算)	備 考
収入				
運営費交付金	48,444	48,444	-	
施設整備費補助金	5,169	3,229	△ 1,940	(注1)
補助金等収入	7,588	7,473	△ 115	
国立大学財務・経営センター施設費交付金	141	134	△ 7	
自己収入	44,905	45,795	889	
授業料、入学料及び検定料収入	10,241	10,280	39	
附属病院収入	29,891	30,710	819	(注2)
財産処分収入	-	4	4	
雑収入	4,774	4,802	28	
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	20,404	21,333	929	(注3)
引当金取崩	-	181	181	
長期借入金	2,848	212	△ 2,635	(注4)
承継剰余金	-	-	-	
旧法人承継積立金	-	-	-	
目的積立金取崩	3,238	2,138	△ 1,100	
計	132,737	128,939	△ 3,798	
支出				
業務費	79,953	72,948	△ 7,005	
教育研究経費	53,373	45,725	△ 7,649	(注5)
診療経費	26,579	27,223	643	(注6)
一般管理費	12,179	13,071	892	(注7)
施設整備費	8,158	4,373	△ 3,785	(注8)
補助金等	7,588	7,367	△ 221	
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	20,404	15,098	△ 5,306	(注9)
長期借入金償還金	4,455	4,557	101	
国立大学法人財務・経営センター施設費納付金	-	-	-	
計	132,737	117,413	△ 15,324	
収入－支出	-	11,526	11,526	

○予算と決算の差異について

(注1) 施設整備費補助金については、(医病)基幹・環境整備事業、(通研)省エネLED情報通信用ナノスピンドイス製作・評価システム、(星陵)総合研究棟改修(歯学系)事業、(小乗浜)災害復旧事業により、予算額に比して決算額が399百万円多額となっています。また、(医病)外来診療棟改修事業、(青葉山)工学系実験研究棟改修事業、(金研)高機能金属加工作製・評価システム、(理学部)中性子非弾性散乱装置、(星陵)スマート・エッジ国際共同研究センター事業、(片平)インテグレーション教育研究棟事業の繰越により、予算額に比して決算額が2,339百万円少額となっています。

(注2) 附属病院収入については、手術件数の増等により予算額に比して決算額が819百万円多額となっています。

(注3) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、外部資金の獲得に努めたため、産学連携等研究収入において予算額に比して決算額が1,838百万円多額となっています。また寄附金収入においては、受入の減により、908百万円少額となっています。なお、前年度からの繰越分として3,480百万円を計上しています。

(注4) 長期借入金については、外来診療棟改修事業の繰越2,663百万円等により、予算額に比して決算額が2,635百万円少額となっています。

(注5) 教育研究経費については、業務達成基準適用事業の繰越による減2,628百万円、教員の定年延長に伴う退職手当の減1,692百万円、その他事業の中断等による減3,328百万円により、予算額に比して決算額が7,649百万円少額となっています。

(注6) 診療経費については、病院収益の増加により、予算額に比して決算額が643百万円多額となっています。

(注7) 一般管理費については、青葉山新キャンパス整備事業の支出による増633百万円、職員人件費の増1,316百万円、その他事業の中断等による減1,058百万円により、予算額に比して決算額が892百万円多額となっています。

(注8) 施設整備費については、(注1)、(注4)に示した理由等により、予算額に比して決算額が3,785百万円少額となっています。

(注9) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、寄附金等の繰り越し等により、予算額に比して決算額が5,306百万円少額となっています。